



申3号「2024年3月ダイヤ改正について」に関する申し入れ提出！その⑤

【ワンマン運転関係】

③ 介助が必要なお客さまが安全で安心して利用できる体制を構築すること。

組合：介助が必要なお客さまの案内方法について示すこと。

会社：ワンマン運転の場合、最前部に案内し、駅員が乗務員に口頭で伝達する。口頭で出来ない場合は列車無線や指令を介して伝達する。通達に定められている。

組合：無人駅における対応を明らかにすること。

会社：事前に予約をいただき、当日は駅員が対応する。予約が無い場合、お客さまとやりとりを行い、箇所総体で対応することとなる。基本的に駅員が対応するが、乗務員が手伝う場合もある。

④ 異常時やイベント等での多客が予想される場合は、編成両数を増加すること。

確認事項 過去の実績や混雑状況を鑑みて、編成両数変更や臨時列車を運転する。

組合：異常時やイベントにおいて、両数変更や臨時列車を運転した実績を示すこと。

会社：土浦花火大会では、5両編成の列車を10両編成で運転した。水郡線のイベント時は編成両数を増強し、ツーマン運転を実施した。水戸線は5両編成のみ運転しているため、臨時列車を運転した実績がある。常磐線では、日立マラソン等でも臨時列車を運転した。

組合：今後も多客が見込まれる場合は、編成両数変更や臨時列車を運転すること。

会社：過去の実績や混雑予想を鑑みて、今後も実施する考えである。

⑤ ワンマン運転拡大に伴い、教育・訓練を充実すること。また、組合員・社員が不安に感じる場合、追加の走行訓練やシュミレータ訓練、指導員の添乗等を行い、不安解消に努めること。

組合：現在行っている訓練の成果や課題を示すこと。

会社：試運転列車の運転や机上訓練、現車訓練を行った後、ハンドル訓練を現在実施している。成果とすれば試運転列車で指導方法の教育やハンドル訓練前にシュミレータ訓練で練習を行うことが出来た。避難訓練等も実施しているが、早めにハンドル訓練を行った社員についてはシュミレータや追加の訓練等も実施している。

組合：組合員・社員が不安に感じる場合、追加の訓練や指導員の添乗等を行うこと。

会社：不安の中身をよく確認し、解消できるように指導していく考えである。

【水戸運輸区】

① 運転士5行路回726M～726M～2729Mの連続乗務を見直すこと。

組合：内原で起床してから3時間30分以上継続乗務となる。小山駅で後続列車の乗務とすること。

会社：水戸線は昨年に小山駅の留置体系を変更したため、持ち替えは難しい。現場からも解消を要望する意見はあるが、現行案で理解されたい。運行体系が変更となる際、改善を試みたい。

② 運転士52行路822D～923D～924Dの水戸駅及び常陸太田駅での折り返し時間を拡大し、連続乗務を見直すこと。

組合：水郡線統括センターで起床してから3時間連続の乗務となる。後続列車への乗務や折り返し駅での機器整備時間を拡大すること。

会社：持ち替えが厳しい輸送体系である。折り返し時間を拡大となれば、行き違いの影響や水戸駅における常磐線との接続に出るため、現行案で理解されたい。

③ 運転士56行路820D～821Dの水戸駅における折り返し時間を拡大し、連続乗務を見直すこと。

組合：水郡線統括センターで起床してから3時間連続の乗務となる。後続列車への乗務や折り返し時間を拡大すること。

会社：行路を持ち替えると、日勤行路に影響が出る。今回のダイヤ改正において、日勤行路を改善したことでAB回しが発生した。水戸駅の折り返し時間は現行5分だが、6分30秒に拡大する。区所からの要望や輸送体系の変化がある場合、改善を検討する考えである。